

県営深谷西地区土地改良事業計画書（変更）

区画整理事業

（農業競争力強化農地整備事業（経営体育成型））

宮 城 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象 及 び 海 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
3.	海 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び侵食の程度	3
2.	土 地 分 類	4
3.	土 地 利 用 の 状 況	4
4.	土 地 所 有 の 状 況	5
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	8
3.	河 川 状 況	11

次

第 4 節	道 路 現 況	12
1.	道 路 概 況	12
2.	主 要 道 路 一 覧 表	12
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	14
1.	産 業 別 就 業 人 口	14
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	14
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	15
4.	主要作物作付状況	15
5.	農業の動向	16
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	16
第 4 章	一 般 計 画	17
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	17
1.	要 旨	17
2.	事業別面積	17
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	18
1.	営 農 計 画 の 概 要	18
2.	土 地 利 用 区 分	18

3.	作付方式	19
4.	生産計画	20
5.	労働改善計画	20
6.	級地別土地利用区分	21
7.	土地配分計画	21
第3節	用水計画	22
1.	計画基準年	22
2.	計画かんがい方式	22
3.	計画用水系統	23
4.	計画用水量	24
5.	水源計画	25
第4節	排水計画	27
1.	計画基準雨量	27
2.	計画排水方式	27
3.	計画排水系統	28
4.	計画排水量	29
5.	排水対策	30
6.	湛水検討	31
第5節	道路計画	31
1.	道路及び索道	31
2.	路線配置図	32

第6節	農用地造成計画	33
1.	農用地造成計画	33
2.	土壌改良	33
第7節	洪水調節計画	33
1.	計画基準雨量	33
2.	計画洪水量及び調節量	33
3.	貯水池	33
4.	洪水調節検討	34
5.	管理計画	34
第8節	干拓計画	34
第9節	農用地整備計画	35
1.	区画整理	35
2.	暗渠排水	37
3.	客土	37
4.	農地保全	37
第10節	老朽ため池改修計画	38
1.	洪水吐改修計画	38
2.	堤体補強計画	38
3.	取水施設改修計画	38

第 5 章	主 要 工 事 計 画	39	第 6 節	干 拓 施 設	44
第 1 節	用 水 施 設	39	1.	堤 防	44
1.	貯 水 池	39	2.	潮 止 め	44
2.	頭 首 工	39	3.	付 属 施 設	44
3.	揚 水 機	39	4.	埋 立	44
4.	用 水 路	40	第 7 節	農 用 地 整 備 施 設	45
5.	その他かんがい施設	40	1.	区 画 整 理	45
第 2 節	排 水 施 設	40	2.	暗 渠 排 水	45
1.	排 水 水 門	40	3.	客 土	46
2.	排 水 機	40	4.	除 礫	46
3.	排 水 路	41	5.	農 地 保 全	46
4.	その他排水施設	41	第 8 節	老朽ため池改修施設	47
第 3 節	道 路 及 び 索 道	41	1.	貯 水 池	47
1.	道 路	41	2.	堤 体 補 強 施 設	47
2.	索 道	42	第 6 章	附 帯 工 事 計 画	48
第 4 節	農用地造成	42	第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	48
1.	農用地造成	42	第 8 章	環境との調和への配慮	48
2.	土 壌 改 良	43			
第 5 節	洪水調節施設	43			
1.	貯 水 池	43			
2.	頭首工及び導水施設	43			

第 9 章	換地計画の概要	48
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	48
第 2 節	換地区の設定	48
1.	換地区の名称, 所在, 面積	48
2.	換地区を設定する理由	49
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	49
1.	従前の土地の地積の基準	49
2.	用途別予定地積	49
3.	農用地集団化の方針	50
4.	非農用地の換地方法	50
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	50
1.	評価の方法	50
2.	清算の方法	50
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	51
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	51
第 10 章	事業費の総額及び内訳	51
第 11 章	効 用	52
第 12 章	関 連 す る 事 業	52
第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	53

第 1 章 目 的

本地域は、宮城県北東部、石巻地域西部と東松島市にまたがる区域に位置し、地区東部を二級河川定川が流下し、南に中江川排水路、北に国道108号線、西に国営矢本幹線用水路に囲まれた、平坦な地域に展開する稲作を中心とした水田地帯である。

地区内のほ場は、昭和20年代後半の耕地整理により10a区画に整備されている。幹線用水路は、国営かんがい排水事業 河南地区及び県営かんがい排水事業 河南地区により整備されているが、末端水路は用排兼用水路が多く、土水路で底高も浅く常に湿潤状態を呈しており水管理に苦慮している状況にある。また、農道幅員が狭小であることから、大型機械による作業が困難で多くの労力を必要とし、生産性が低く近代的農業経営に支障をきたしている状況にある。

したがって、本事業によりほ場・道路・用排水路、暗渠排水等の整備を行い、耕地の汎用化、水管理の合理化を図るとともに、農地の利用集積と経営体の育成・支援を一体的に行い、効率的かつ安定的な農業の確立を目指し、多面的機能が将来にわたって発揮できるよう競争力ある農業を継続することを目標とするものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域
区画整理事業	宮城県石巻市、東松島市

第 2 節 地 積

(令和 7 年 9 月現在) (第 2 表)

事 業 名	現況地目	田	畑	山 原	林 野	道水路敷	そ の 他	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	石巻市	187.5	0.1	－	－	18.3	0.3	206.2	
		187.5	0.1			18.3	0.3	206.2	
	東松島市	86.0	0.4	－	－	7.9	－	94.3	
		85.0	0.4			7.8		93.2	
合 計		273.5	0.5	－	－	26.2	0.3	300.5	
		272.5	0.5			26.1	0.3	299.4	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名 観測期間	石巻観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
	H23年～R2年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		20.1	8.2	12.1	
降水量	平均(mm)	441.0	652.7	1,093.7	
	基準年(mm)	649.0	313.0	962.0	S42：国営河南地区計画基準年
降水日数	平均(日)	-	-	-	
	基準年(日)	-	-	-	
根雪期間		-月-日-月-日-日間			
無霜期間		-月-日-月-日-日間			
最多風向	WNW	最大風速 (風向)	- m/s (-)	最多風向発生時期 10月～6月 最大風速発生年月日 -	

2. 特殊気象

(第3表－2)

観測所名 石巻観測所 観測期間	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数量	年月日	発確 生率	数量	年月日	発確 生率	数量	年月日	発確 生率	数量	年月日	発確 生率	数量	年月日	発確 生率	
M20～R2																
最大日雨量 (mm)	227	H23.9.21	1/59	162	S14.10.27	1/38	159	H26.9.11	1/27	152	T6.8.30	1/21	150	R元.10.12	1/21	
最大2日連続 雨量(mm)	299	H23.9.20	1/162	238	S25.8.3	1/47	227	H14.7.10	1/26	227	R元.10.12	1/17	199	H3.10.12	1/15	
最大3日連続 雨量(mm)	307	H23.9.20	1/120	248	R元.10.11	1/116	239	S25.8.2	1/70	228	H14.7.9	1/38	222	H3.10.11	1/29	
最大連続 雨量(mm)	341	H10.8.26	1/143	307	H23.9.20	1/72	304	S25.7.28	1/40	273	S39.8.19	1/39	272	H3.10.6	1/30	
最大連続旱天 日数(日)	83	S4.1.3	1/978	72	H29.1.1	1/45	62	H12.1.14	1/35	61	M25.1.8	1/23	59	S29.1.1	1/20	

3. 海 象

該当なしに付き省略

(第3表－3)

観測所名	既往最高 潮位(m)	さく望平 均満潮位(m)	上下弦平 均満潮位(m)	平均潮位 (m)	上下弦平 均干潮位(m)	さく望平 均干潮位(m)	既往最低 潮位(m)	備 考
観測期間 年～年								
実 測 値								

第 2 節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目 傾 斜	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高(m)		備 考
		1/1,000	1/1,000	1/300	1/100	1/20	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以 上	計	最 高	最 低	
		区 分	以 下	1/300	1/100	1/20				以 上	8° ～ 10°	10° ～ 15°						
区画整理事業	面 積 (ha)	178.0	78.8	16.0	0.7	-	273.5	0.5	-	-	-	-	-	-	0.5	T. P 5.90m	T. P -0.21m	
	比 率 (%)	65.1	28.8	5.8	0.3	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0				
	65.0	28.9	5.8	0.3	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0					
合 計	面 積 (ha)	178.0	78.8	16.0	0.7	-	273.5	0.5	-	-	-	-	-	-	0.5	-	-	
	比 率 (%)	65.1	28.8	5.8	0.3	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0				
	65.0	28.9	5.8	0.3	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0					

(第4表-1-2)

項 目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)	備 考	
	色	土 壤 断 面						堆 積 様 式	母 材				
		腐 植	礫 層	酸 化 沈 澱 物	土 性					泥 炭 層 及 グ ラ イ			
					表 土	下 層 土							
					一 層	二 層	三 層						
泥炭土強粘土型	5Y4/1	頗る富む	なし	含む	Lic	HC	P	泥炭層	完新統	沖積地堆積物	111.4 111.4	(-) (-)	A2
泥炭土強粘土型	2. 5Y4/2	富む	なし	含む	CL	Lic	M	泥炭層	〃	〃	26.1 26.1	(-) (-)	A3
黒泥土強粘土型	10R6/1	富む	なし	含む	Lic	Lic	HC	黒泥層・泥炭層	〃	〃	3.1 3.1	(-) (-)	C20
黒泥土強粘土型	5Y2/4	富む	なし	含む	CL	C	M	黒泥層	〃	〃	32.5 31.5	(0.1) (0.1)	C21
黒泥土強壤土型	2. 5Y8/2	含む	なし	含む	SL	SiL	M	黒泥層・グライ層	〃	〃	70.2 70.2	(0.3) (0.3)	C22
強グライ土強粘土還元型	10YR	富む	なし	含む	Lic	HC	HC	グライ層	〃	〃	3.0 3.0	(-) (-)	D30
グライ土強粘土構造型	10YR4/3	富む	なし	含む	L	HC	Lic	泥炭層	〃	〃	2.1 2.1	(-) (-)	E40
グライ土強壤土型	7. 5YR4/2	富む	なし	含む	SiCL	SiCL	SiCL	グライ層	〃	〃	13.9 13.9	(-) (-)	E43
灰色土強粘土構造型	10YR2/2	なし	なし	なし	Lic	HC	L	黒泥層	〃	〃	3.3 3.3	(-) (-)	F50
灰褐色土強粘土構造型	10YR5/1	富む	なし	含む	Lic	Lic	SiC	—	〃	〃	2.2 2.2	(-) (-)	G60
灰褐色土強壤土型	2. 5Y9/2	富む	なし	含む	SiCL	SiCL	SiL	—	〃	〃	5.7 5.7	(0.1) (0.1)	G62
計											273.5 272.5	(0.5) (0.5)	() は畑

該当なしに付き省略

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中 程 度 の	大 な る の	
農 地 保 全	面 積 (ha) 比 率 (%)											

2. 土地分類

該当なしに付き省略

(第4表-2-1)

級 地 別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なしに付き省略

(第4表-2-2)

級 地 別 市町村名	干 拓					計 (ha)	備 考
	一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)			

3. 土地利用の状況

(令和7年9月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 樹 園 地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理事業	石巻市	187.5 187.5	0.1 0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	18.6 18.6	206.2 206.2	
	東松島市	86.0 85.0	0.4 0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	7.9 7.8	94.3 93.2	
合 計		273.5 272.5	0.5 0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	26.5 26.4	300.5 299.4	

4. 土地所有の状況

(令和7年9月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	市町村有	県有	国有	改良区有	電力有	計	備考
区画整理事業	面積 (ha)	274.0 273.0	26.1 26.0	-	0.1 0.1	0.0 0.0	0.3 0.3	300.5 299.4	
	受益者数 (人)	195 195	-	-	-	-	-	-	
	筆数 (筆)	3,166 3,165	715 715	-	1 1	16 16	27 27	3,925.0 3,924.0	
	権利関係	所有権・ 賃借権	-	-	-	-	-	-	
	備考 (関係戸数)	322 322	-	-	-	-	-	-	
合 計	面積 (ha)	274.0 273.0	26.1 26.0	-	0.1 0.1	0.0 0.0	0.3 0.3	300.5 299.4	
	受益者数 (人)	195 195	-	-	-	-	-	-	
	筆数 (筆)	3,166 3,165	715 715	-	1 1	16 16	27 27	3,925.0 3,924.0	
	権利関係	所有権・ 賃借権	-	-	-	-	-	-	
	備考 (関係戸数)	322 322	-	-	-	-	-	-	

第 3 節 水 利 状 況

1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川旧北上川を水源とし、国営和歌山揚水機場及び中山揚水機場により汲み上げ、国営矢本幹線用水路にて導水され、県営用水路を経て地区内に供給されている。

地区内は用排兼用の土水路が殆どで、水管理を行う上で多大な支障を来している状況にある。

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500 ha以上		500 ～ 100ha		100 ha 未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m/s	箇所	m/s	m/s	
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	1	1.0 1.0 (0.9) (0.9)	1	1.0 1.0 (0.9) (0.9)	-	-	-	-	0.002	ため池掛かり
	井堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	4	5,245.1 5,245.1 (259.3) (259.3)	-	-	1	21.0 20.0 (13.3) (12.3)	5	5,266.1 5,265.1 (272.6) (271.6)	4	代0.566 普0.470	1	代0.028 普0.024	0.505	和淵、中山揚水機場 笠入、柏木揚水機場 青木川下流揚水機場
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		4	5,245.1 5,245.1 (259.3) (259.3)	-	-	2	22.0 21.0 (14.2) (13.2)	6	5,267.1 5,266.1 (273.5) (272.5)	4	代0.566 普0.470	1	代0.028 普0.024	-	

()は本地区分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	273.5 272.5	土水路, フリューム	L=38, 337m	S27, S53	老朽化, 漏水, 用排水分離	
	その他	-	-	-	-	-	-	
合計		-	273.5 272.5	-	L=38, 337m	-	-	

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
	平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	平均 (千m³)	基準年 (千m³)	作物名	減産量(t)				

(イ) その他の被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なしに付き省略

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				被害想定額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計	

2. 排水状況

本地区の排水は、国営中区第1排水機場と団体営上区排水機場の2系統に分かれている。国営中区第1排水機場の排水先は二級河川定川であり、団体営上区排水機場は中江川排水路に排水されている。

地区内の排水は自然排水及び機械排水が行われているが、用排兼用の土水路が殆どで、排水不良が生じ、営農や維持管理に支障を来している。

現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500 ha 以上		500 ~100ha		100 ha 未満						
	施設名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
区画整理事業	自然	排水路	-	-	-	-	1	47.4 47.4 (4.4)	1	47.4 47.4 (4.4)	0.943	0.943	(二級河川) 定川
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(二級河川) 定川
		水門及び 排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び 排水機	-	-	1	492.5 492.5 (267.3)	1	78.5 77.4 (28.8)	2	571.0 569.9 (296.1)	10.166	23.930	
		排水機	-	-	-	(267.3)	-	(27.7)	-	(295.0)	-	-	
合計			-	-	1	492.5 492.5 (267.3)	2	125.9 124.8 (33.2)	3	618.4 617.3 (300.5)	11.109	24.873	

()は本地区分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
区画整理事業	自然	排水路	-	273.5 272.5	土水路, フリム	L=25, 908m	S27, S53	老朽化, 能力不足, 用排水分離	-
		水門	-	-	-	-	-		
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-
		水門及び 排水機	-	-	-	-	-		
		排水路及び 排水機	-	-	-	-	-		
	合計			-	273.5 272.5	-	L=25, 908m	-	-

(3) 排水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
	乾								湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なしに付き省略

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m³/s)	既往最大洪水量 (m³/s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第 4 節 道 路 現 況

1. 道路概況

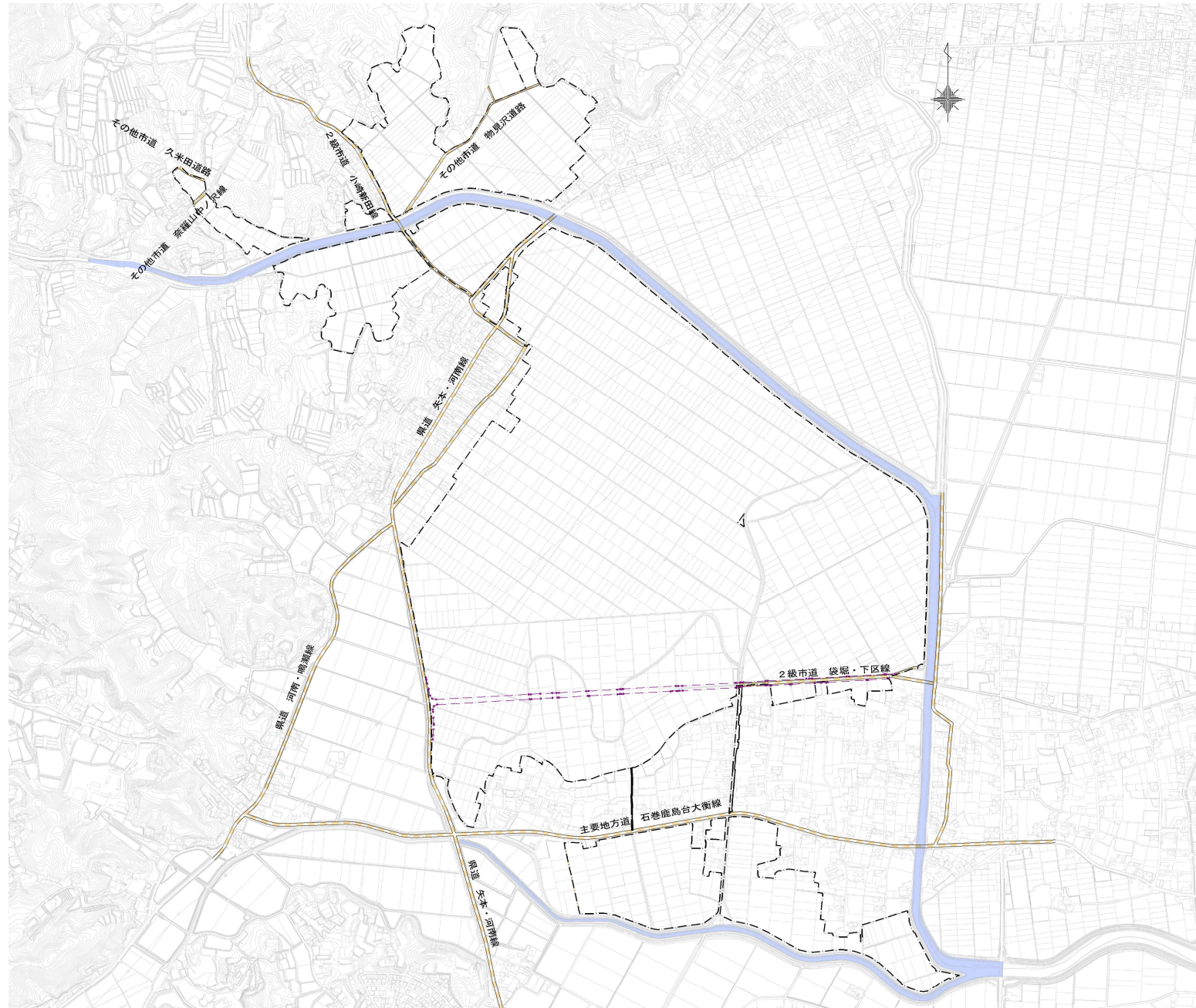
本地区の道路概況は、東に石巻市道一番江道路、北に国道108号線、西に主要地方道矢本河南線、南に主要地方道石巻鹿島台大衡線が走っている。地区内には農道が東西南北に配置されており、幹線道路との接続により物流や集落を結ぶ道路として整備されている。それらの道路は全幅2.0～3.5m程度と狭く未舗装状態であり、耕作運搬や営農機械の走行に支障をきたしている。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	県道	宮城県	251	7.0	5.5	アスファルト舗装	否	
2	2級市道	石巻市, 東松島市	806	5.0～6.0	4.0～5.0	アスファルト舗装	否	
3	その他市道	石巻市, 東松島市	9,925	2.0～5.0	1.5～4.0	アスファルト舗装 砂利道	要	既設利用・改修・廃止
	計	-	10,982	-	-	-	-	

主要道路現況図



第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(令和元年版 宮城県統計年鑑による)

(第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 業 (人)	情 報 通 信 業 (人)	運 輸 業 (人)	卸 売 小 売 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	飲 食 店 宿 泊 業 (人)	医 療 福 祉 業 (人)	教 育 学 習 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 業 (人)	そ の 他 (人)	備 考
石巻市	67,457	2,732	115	2,318	74	9,541	10,054	536	439	4,066	9,989	1,254	975	3,132	7,469	2,265	8,544	2,628	1,326	
東松島市	18,562	1,081	16	347	18	2,570	2,262	89	99	1,268	2,820	260	222	967	2,080	693	2,278	1,433	59	
計	86,019	3,813	131	2,665	92	12,111	12,316	625	538	5,334	12,809	1,514	1,197	4,099	9,549	2,958	10,822	4,061	1,385	
比 率 (%)	100	4	0	3	0	14	14	1	1	6	15	2	1	5	11	3	13	5	2	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(2015年農林業センサスによる)

(第7表-2)

項 目 市 町 村 名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1 戸 当 たり 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						耕 地 の 分 散 状 況		専 業 業 別 農 家 数 (戸)			備 考
		規 定 外 經 営 し 耕 地	農 家 自 給 的 0.3 未 満	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1 戸 当 たり 団 地 数	団 地 当 たり 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
				～	～	～	～	～	～	～	～	第 一										第 二		
				0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	以 上										種	種	
石 巻 市	3,018	32	36	237	589	498	388	511	384	215	75	53	2.95	0.09	0.00	3.04	0.01	3.05	-	-	661	415	1,839	
東 松 島 市	771	9	13	58	149	105	94	132	85	79	31	16	3.21	0.22	0.00	3.43	0.01	3.44	-	-	189	113	438	
計	3,789	41	49	295	738	603	482	643	469	294	106	69	6.16	0.31	0.00	6.47	0.02	6.49	-	-	850	528	2,277	
比 率 (%)	100	1	1	8	19	16	13	17	12	8	3	2	95	5	0	100	0	100	-	-	22	14	60	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2015年農林業センサスによる)

(第7表-3)

項 目 市 町 村 名	動 力 農 機 具							主 要 家 畜								備 考
	トラクター		田 植 機		自脱型コバ イン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		鶏			
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)			数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (100羽)	
石巻市	2,755	2,308	1,831	1,790	1,318	1,273			700	25	3,655	124	4,342	10	125	8
東松島市	846	617	451	442	57	342			133	7	431	33	961	3	0	4
計	3,601	2,925	2,282	2,232	1,375	1,615			833	32	4,086	157	5,303	13	125	12
100戸当たり数量 (台, 頭, 100羽)	95		60		36				22		125		140		3	
利用戸数割合 (%)	77		59		43				1		4		0		0	

4. 主要作物作付状況

記載データなしに付き省略

(第7表-4)

市 町 村 名								計	平 均	作 付 率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)											
総 本 地 面 積 (ha)											
区 分		作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (Kg/10a)		
作 物 名		(ha)	(Kg/10a)	(ha)	(Kg/10a)	(ha)	(Kg/10a)	(ha)	(Kg/10a)		
田	水 稲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
畑	野 菜 類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他 作 物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
樹 園 地	果 樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計		-	/	-	/	-	/	-	/	-	
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)		-	-	-	-	-	-	-	/	/	

5. 農業の動向

【石巻市】

(2015年農林業センサスによる)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A 現在		B	A 現在	作 物 名	B	A 現在	家 畜 名	B	A 現在	農 器 機 名	B	A 現在		
変化の 状況C年を 100とする 指数	総農家数	74	52	耕 地	88	97	米	90	93	乳 用 牛	69	58	トラクター	81	63	農業振興地域整備計画 S46.3 農業経営基盤強化の 促進に関する基本構想 H18.3 河南地域 水田農業ビジョン H20.7 広域営農団地整備計画 S60.3 酪農・肉用牛生産 近代化計画 H18.3	A：H27年 B：H22年 C：H17年
	専業農家数	101	89	田	88	99	麦 類	150	2,579	肉 用 牛	84	76	田植機	76	57		
	第一種兼業農家数	72	58	畑	86	62	豆 類	181	2,228	豚	61	53	コンバイン	74	62		
	第二種兼業農家数	70	45	樹 園 地	69	46	野 菜 類	82	77	採 卵 鶏	120,250	6,250					
	農業従事者数	74	50	草 地	155	95	果 樹 類	0	22								
変 化 の 理 由	他産業への移行および、大規模農家への作業委託が進み農家数の減少。			農地の転用及び離農等による。			生産調整に伴う米の減少。集団転作の推進による麦類・豆類の大幅な作付け増。			外国からの畜産物の輸入の増加により、国内の酪農農家が減少。			農作業の委託増加及び機械の共同利用による減少。規模拡大による機械の大型化が進行している。				

5. 農業の動向

【東松島市】

(2015年農林業センサスによる)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A 現在		B	A 現在	作 物 名	B	A 現在	家 畜 名	B	A 現在	農 器 機 名	B	A 現在		
変化の 状況C年を 100とする 指数	総農家数	76	50	耕 地	91	95	米	92	96	乳 用 牛	78	35	トラクター	81	62	農業振興地域整備計画 H29. 6. 30 農業経営基盤強化の 促進に関する基本構想 H28. 9. 28 河北地域水田農業ビジョン H29. 4. 1 農村環境計画 H18. 4. 1	A : H27年 B : H22年 C : H17年
	専 業 農 家 数	104	78	田	91	96	麦 類	500	2700	肉 用 牛	76	52	田植機	74	47		
	第一種兼 業農家数	69	43	畑	93	81	豆 類	164	316	豚	0	372	コンバイン	71	53		
	第二種兼 業農家数	70	44	樹 園 地	86	29	野 菜 類	90	112	採 卵 鶏	0	0					
	農 業 徒 事 者 数	78	48	草 地	200	160	果 樹 類	0	0								
変 化 の 理 由	他産業への移行および、大規模農家への作業委託が進み農家数の減少。			農地の転用及び離農等による。			集団転作の推進による麦、豆類の大幅な作付け増。			外国からの畜産物の輸入の増加により、国内の酪農農家が減少。			農作業の委託増加及び機械の共同利用による減少。規模拡大による機械の大型化が進行している。				

第 6 節 地域環境の概況

本地区は、自然豊かな地域で多種多様な生物が生息しており、このうち貴重な種に該当する種は、魚類ではミナミメダカ、ドジョウ、底生動物では、マルタニシ、オオタニシが確認された。底生生物及び植物の重要種はなく、ごく一般的に生息する種が確認された。

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区の現況ほ場は、昭和20年代後半の耕地整理により10a区画に整理されているが、道水路においては未整備となっている。現況用排水路は大部分が土水路であり、道路幅員も狭小のため、近代的営農に支障を来している状態にある。従って、これらの阻害要因を改良し、近代的営農形態がとれるほ場条件に整備するため、区画の再整理、用排水の分離、農道、暗渠排水を整備し汎用耕地化を図り、農地の集団化を実施し、大型機械導入、水管理の合理化等により生産性の高い農業基盤の整備を行う。

また、事業実施に際しては、両生類の移動経路確保や希少生物の生態系配慮の整備等を行い、環境との調和に配慮する。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	区画整理事業												計	備 考
	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他	小 計	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	・ ・ ・	小 計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理工	265.6 265.0	-	-	-	-	265.6 265.0	-	-	-	-	-	-	265.6 265.0	
暗渠排水工	265.6 265.0	-	-	-	-	265.6 265.0	-	-	-	-	-	-	265.6 265.0	
計	265.6 265.0	-	-	-	-	265.6 265.0	-	-	-	-	-	-	265.6 265.0	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

(1) 経営方式

本地区は、水稻・大豆を基幹とし、アスパラガスなどの高収益作物も導入した経営を行い、生産法人や担い手農家等への農地の利用集積を図り、機械共同利用等により経営規模の拡大を図るとともに大型機械の導入によりコストの低減を図る。

(2) 経営組織及び作業体系

農地の集団化を図り、大型機械の共同利用を進めるとともに、利用権設定若しくは作業委託により農地を生産法人や担い手農家等に集約し、農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表－1)

事業名	土地利用区分		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区	分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	現	況	273.5	0.5	－	－	－	－	274.0	－	－	26.5	300.5	
			272.5	0.5					273.0			26.4	299.4	
	計	画	265.6	－	－	－	－	－	265.6	－	－	34.9	300.5	
			265.0						265.0			34.4	299.4	
	現	況												
	計	画												
計	現	況	273.5	0.5	－	－	－	－	274.0	－	－	26.5	300.5	
			272.5	0.5					273.0			26.4	299.4	
	計	画	265.6	－	－	－	－	－	265.6	－	－	34.9	300.5	
			265.0						265.0			34.4	299.4	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1年目												2年目												3年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理	現況	水稻＋野菜	田＋畑	水稻・飼料用米・WCS用稲 大豆 ばれいしょ												水稻・飼料用米・WCS用稲 大豆 ばれいしょ												水稻・飼料用米・WCS用稲 大豆 ばれいしょ												
事業計画	計画	水稻＋野菜	田＋畑	水稻 大豆 ねぎ ばれいしょ だいこん アスパラガス												水稻 大豆 ねぎ ばれいしょ だいこん アスパラガス												水稻 大豆 ねぎ ばれいしょ だいこん アスパラガス												
	アスパラガス												アスパラガス												アスパラガス															

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項 目 土地 利用区分	作物名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同 左 生 産 量 増 減 の 内 訳 (t)		備 考
			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単位面積 当 たり 収量増加	
区 画 整 理 事 業	水 田	水 稲	240.2 239.2	157.5 156.9	△82.7 △82.3	91 91	60 60	555	566	11	1,333.1	891.9	△441.2	△459.0	17.8	
		飼 料 用 米	2.9 2.9	-	△2.9 △2.9	1 1	-	555	555	-	16.1	-	△16.1	△16.1	-	
		WCS 用 稲	0.5 0.5	-	△0.5 △0.5	0 0	-	2,409	2,409	-	12.0	-	△12.0	△12.0	-	
		大 豆	8.5 8.5	96.6 96.6	88.1 88.1	3 3	37 37	179	295	116	15.2	285.0	269.8	259.9	9.9	
		ね ぎ	-	5.0 5.0	5.0 5.0	-	2 2	1,428	1,428	-	-	71.4	71.4	71.4	-	
		ば れ い し ょ	0.3 0.3	3.0 3.0	2.7 2.7	0 0	1 1	1,405	1,574	169	4.2	47.2	43.0	42.5	0.5	
		だ い こ ん	-	0.1 0.1	0.1 0.1	-	0 0	2,029	2,029	-	-	2.0	2.0	2.0	-	
		ｱｽﾊﾞﾗｶﾞｽ	-	0.5 0.5	0.5 0.5	-	0 0	292	292	-	-	1.5	1.5	1.5	-	
		調 整 水 田	4.0 4.0	-	△4.0 △4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		自己保全管理	7.7 7.7	-	△7.7 △7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	普 通 畑	ね ぎ	0.3 0.3	-	△0.3 △0.3	0 0	-	1,428	1,428	-	4.3	-	△4.3	△4.3	-	
		ば れ い し ょ	0.2 0.2	-	△0.2 △0.2	0 0	-	1,405	1,405	-	2.8	-	△2.8	△2.8	-	
		だ い こ ん	0.0 0.0	-	△0.0 △0.0	0 0	-	2,029	2,029	-	-	△0.0	△0.0	△0.0	-	
	合 計		264.6 263.6	262.7 262.1	△1.9 △1.5	95 95	100 100	-	-	-	-	-	-	-	-	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考
				区分	現況	計画	増減	
区画整理事業	水田	水稲	157.5	人 力	222.0	139.1	△82.9	
			156.9	機械力	98.6	63.2	△35.4	
		大豆	96.6	人 力	159.5	25.3	△134.2	
			96.6	機械力	115.2	19.0	△96.2	
		ねぎ	5.0	人 力	3,379.6	1,873.5	△1,506.1	
			5.0	機械力	149.6	365.6	216.0	
		ばれいしょ	3.0	人 力	922.6	902.1	△20.5	
			3.0	機械力	85.6	65.1	△20.5	
		だいこん	0.1	人 力	1,161.5	1,142.8	△18.7	
			0.1	機械力	121.5	102.8	△18.7	
	普通畑							
合	計	262.2 261.6		-	-	-		

6. 級地別土地利用区分

該当なしに付き省略

(第9表-5)

[illegible]

7. 土地配分計画

該当なしに付き省略

(第9表-6)

[illegible]

第 3 節 用 水 計 画

1. 計画基準年

国営かんがい排水事業「河南地区」の計画諸元に基づき、昭和42年を計画基準年とする。

かんがい期有効雨量	2 6 5 . 0 mm
連 続 旱 天 日 数	-
河 川 渴 水 位	-

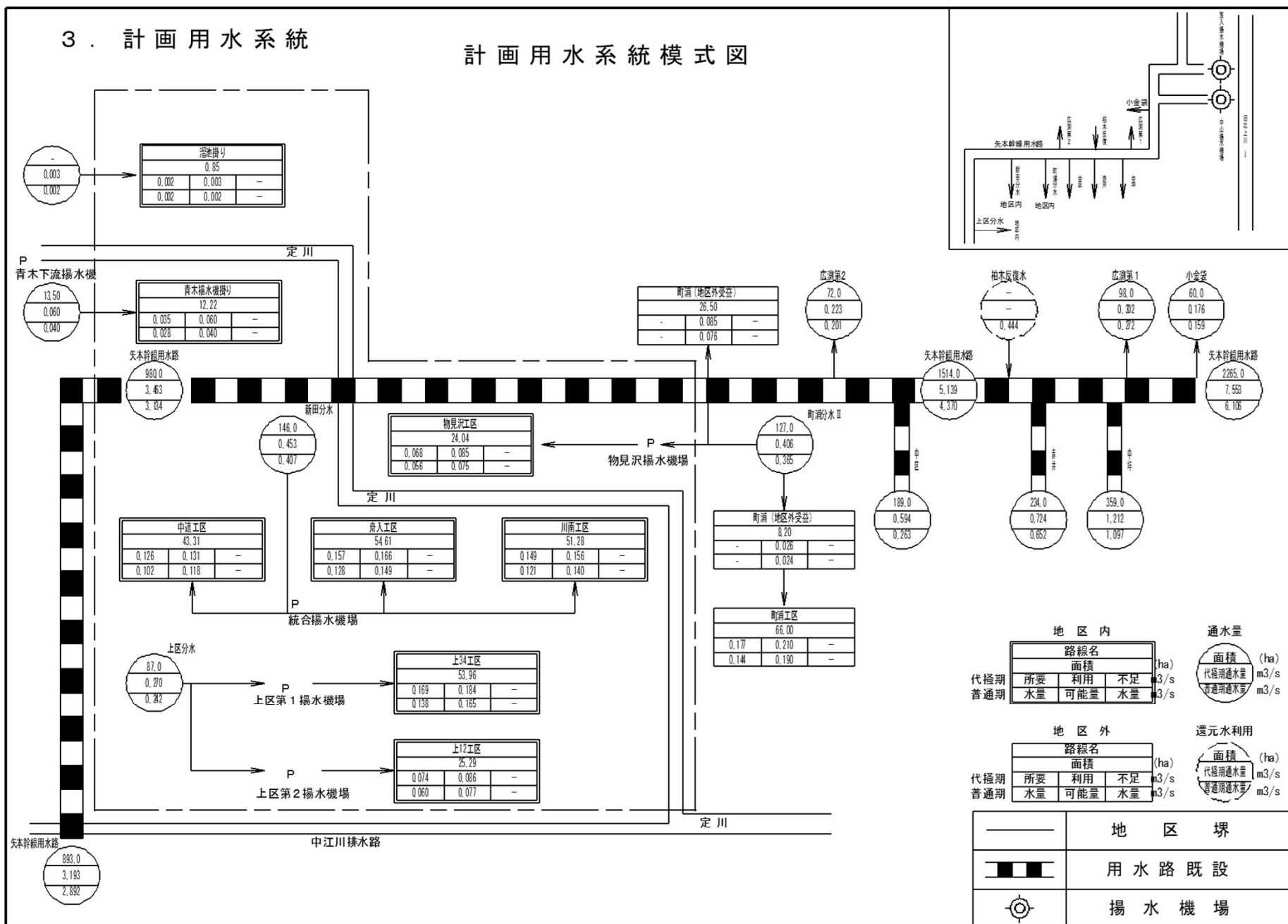
2. 計画かんがい方式

水 田 水 稻 湛水かんがい	かんがい期間	1 3 8 日	4 月 2 6 日 ~	9 月 1 0 日
	(代掻期間	1 5 日	4 月 2 6 日 ~	5 月 1 0 日)

本地区の用水は、一級河川旧北上川を水源とし、国営和瀧揚水機場及び中山揚水機場により汲み上げ、国営矢本幹線用水路にて導水され、県営用水路を経て地区内に供給されている。水田かんがい方式は、地形上、営農条件、地元意向等から用水の有効利用を図るため、全域パイプライン計画（樹脂・管網配管）とする。

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系 統 名	種 別	面積(ha)	水 田 か ん が い			水 田 畑 利 用			畑 地 か ん が い			そ の 他		消 費 水 量 (m³／S)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備 考
		事 業 名	普 通 期	代かき期	面 積 (ha)	一 日 平 均 当 たり 計 画 かん 水 深 (mm／日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一 日 平 均 当 たり 計 画 (mm／日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計画平均 単位用水量 (mm／日)	面 積 (ha)			平 均	最 大	
		区画整理 事業	計画平均	計画代かき														
			単位用水量 (mm／日)	単位用水量 (mm／日)														
北上川水系旧北上川	農 業	252.5 252.5	18.6	123.2	252.5 252.5	-	-	-	-	-	-	-	-	代0.675 普0.550	10	0.605	0.743	
定川水系定川	農 業	12.2 11.6	18.6	123.2	12.2 11.6	-	-	-	-	-	-	-	-	代0.032 普0.025	10	0.028	0.035	
ため池	農 業	0.9 0.9	18.6	123.2	0.9 0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	代0.002 普0.002	10	0.002	0.002	
計		265.6 265.0	-	-	265.6 265.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.635	0.780	

(2) 営農飲雑水

該当なしに付き省略

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量	最大給水量			
					(ℓ/日)	(ℓ/日)			

5. 水 源 計 画

(1) 水利用計画

該当なしに付き省略

(第10表-2)

項 目 区 分	消費水量	有効雨量	純用水量	祖用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源工種	備 考
	a	b	c=a-b	d= c/(1- α)	水 源 名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可 能 量	純不足量	全不足 水 量	水 源 名	水 量		α : 損失率
	(千 m^3)	(千 m^3)	(千 m^3)	(千 m^3)		e (千 m^3)	f (千 m^3)	g=c-f (千 m^3)	h=d-e (千 m^3)		(千 m^3)		$\alpha = \%$

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なしに付き省略

(第10表-3)

項 目 貯 水 池 名	流域面積 (km ²)		かん がい 面 積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ / s)	備 考
			事 業 名							
	直 接	間 接			計					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なしに付き省略

(第10表-4)

項 目 貯 水 施 設 名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かん がい 面 積 (ha)			取 水 量 (m ³ /s)		渇 水 量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最 大	平 均		
					計				

(ウ) 揚 水 機

(第10表-5)

項 目 名 称	水 源 名	かんがい面積 (ha)	所要水量 (m ³ /s)		揚 水 機				備 考
			最 大	平 均	実 揚 程 (m)	揚 水 量 (m ³ /s)	台 数 (Kw×台)	全揚水量 (m ³ /s)	
物見沢揚水機場	旧北上川	24.0 24.0	0.068	0.056	13	0.068	11.0×2	0.068	水中ポンプ
統合揚水機場(川南)	旧北上川	51.3 51.3	0.149	0.121	17	0.149	22.0×2	0.149	水中ポンプ
統合揚水機場(舟入)	旧北上川	54.6 54.6	0.157	0.128	17	0.157	30.0×2	0.157	水中ポンプ
統合揚水機場(中道)	旧北上川	43.3 43.3	0.126	0.102	17	0.126	22.0×2	0.126	水中ポンプ
上区第一揚水機場	旧北上川	54.0 54.0	0.169	0.138	14	0.169	22.0×2	0.169	水中ポンプ
上区第二揚水機場	旧北上川	25.3 24.7	0.074	0.060	14	0.074	11.0×2	0.074	水中ポンプ
青木川下流揚水機場	定川	12.2 12.2	0.035	0.028		0.035		0.035	既設利用
計		264.7 264.1	0.778	0.633		0.778		0.778	

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)		最 大 通 水 量 (m³/s)	延 長 (Km)	構 造	備 考
	事 業 名					
	区画整理事業	計				
パイプライン	265.6 265.0	265.6 265.0	0.157	34.607	塩ビ管, FRPM管	加圧パイプライン
計	265.6 265.0	265.6 265.0	-	34.607		

(オ) その他の水源施設

該当なしに付き省略

(3) 水温水質

該当なしに付き省略

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

排水諸元は、「石巻観測所」における明治 21 年～平成 25 年までの資料により、岩井法にて確率計算された 1 / 2 年確率最大日雨量 $R_{24} = 78.9 \text{ mm/日}$ 、1 / 10 年確率最大日雨量 $R_{24} = 121.2 \text{ mm/日}$ を基準雨量として採用する。

確 率 年	最 大 日 雨 量
1 / 2 年確率	78.9 mm
1 / 10 年確率	121.2 mm

2. 計画排水方式

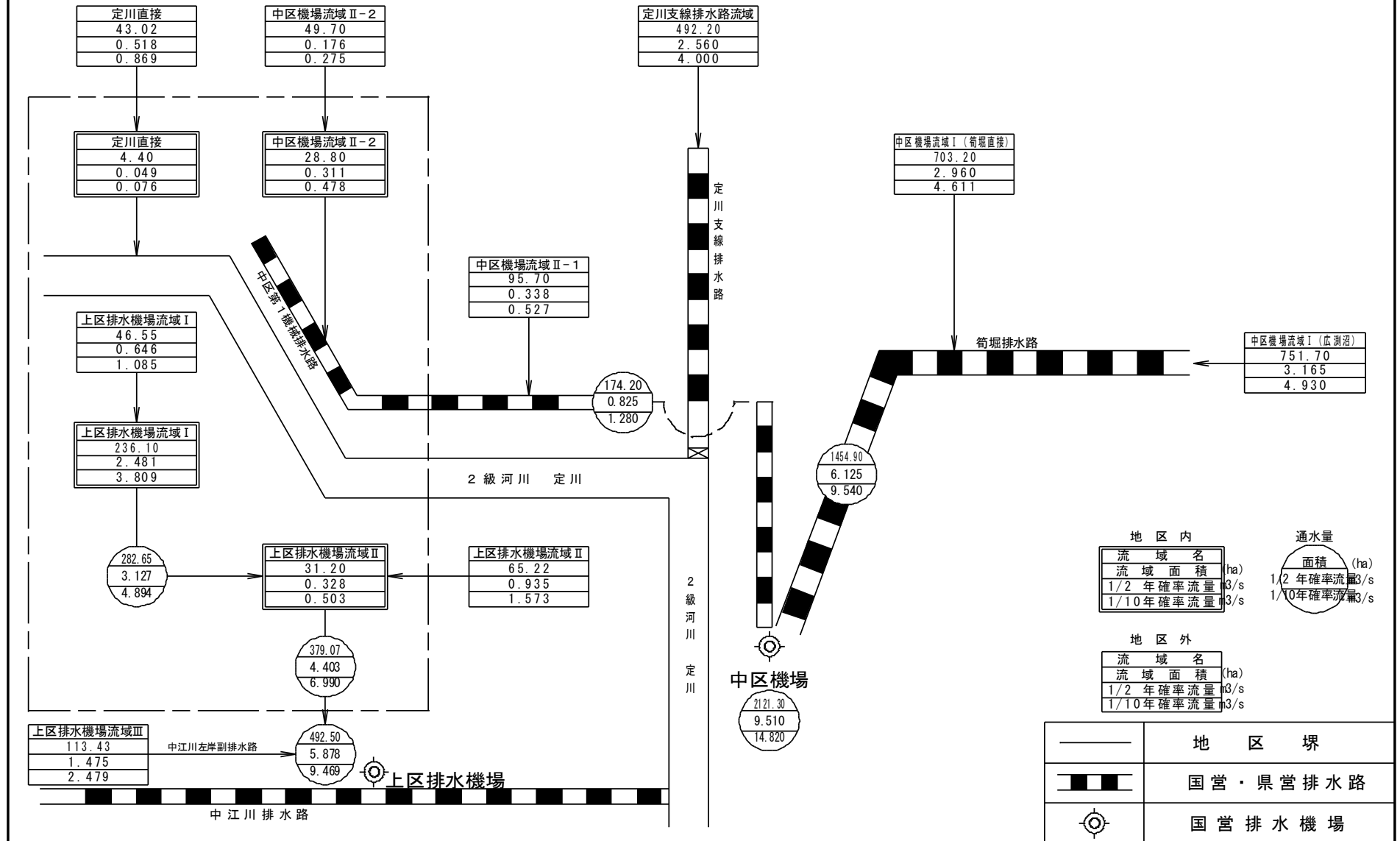
本地区の末端排水は中区第 1 機械排水路及び筍堀排水路へ排水され、国営中区第 1 機械排水機場より二級河川定川へ直接排水される流域と、上区排水機場より中江川排水路を経て二級河川定川へ排水される。

しかし降雨時には機械排水の影響により、内水位が高くなり農地へ湛水被害を発生させている状況にある。また、地区内の排水は底高が浅く、用排兼用の土水路であることから排水性が悪く湿田状態が続いているが、近年の集中豪雨等により湛水が長く続くなど営農や維持管理に支障をきたしている。

したがって、本事業ではこれらを基に末端水路及び附帯施設の整備を行う。排水方式は、地区形状、営農条件、地元意向等から全区域とも開水路方式によるものとする。

3. 計画排水系統

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第 1 1 表 - 1)

項 目 排水系統名	受益面積 (ha)	流 域 面 積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位 流出量 (m ³ /S/Km ²)		基 底 流 出 量 (m ³ /S/Km ²)		全排水量 (m ³ /S)			単位排水量 (m ³ /S/Km ²)		備 考
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地	
										自然排水	機械排水			
中区機場Ⅱ-2	28.8 28.8	-	0.785	121.2	-	1.031 ~2.233	-	-	-	0.753	0.959	二級河川定川		
定川直接	4.4 4.4	-	0.474	121.2	-	1.031 ~2.233	-	-	0.945	-	1.994	二級河川定川		
上区機場	267.3 266.2	-	4.925	121.2	-	1.031 ~2.233	-	-	-	9.469	1.923	二級河川定川		
計	300.5 299.4	-	6.184						0.945	10.222				

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なしに付き省略

(第11表-2)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機

該当なしに付き省略

(第11表-3)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排 水 量 (m³/S)	地区内湛水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m³/S)	台 数 (台)	全 排 水 量 (m³/S)	
				計							

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)		計 画 排 水 量 (m ³ /S)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名					名 称	計 画 洪 水 量 (m ³ /S)	計 画 洪 水 位 (m)	
		区画整理事業	計							
排水路	0.474 ～4.925	300.5 299.4	300.5 299.4	0.753 ～9.469	23.208	排水フリューム	二級河川 定川	-	-	
計	-	300.5 299.4	300.5 299.4		23.208					

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なしに付き省略

(第11表-2)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排 水 機

該当なしに付き省略

(第11表-3)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名					排 水 量 (m³/S)	地区内湛水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m³/S)	
				計							

(3) 排 水 路

(第11表-4)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)		計 画 排 水 量 (m ³ /S)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名					名 称	計 画 洪 水 量 (m ³ /S)	計 画 洪 水 位 (m)	
		区画整理事業	計							
幹線排水路	0.254 ～2.341	(267.3)	(267.3)	0.264 ～2.571	2.978	排水フリューム	二級河川 定川	-	-	
支線排水路	0.007 ～0.858	300.5 299.4	300.5 299.4	0.007 ～0.941	5.654	排水フリューム	二級河川 定川	-	-	
小排水路	0.009 ～0.386	(300.5) (299.4)	(300.5) (299.4)	0.004 ～0.453	12.771	排水フリューム	二級河川 定川	-	-	
承水路	0.002 ～0.102	(300.5) (299.4)	(300.5) (299.4)	0.003 ～0.110	1.805	排水フリューム	二級河川 定川	-	-	
計	-	300.5 299.4	300.5 299.4		23.208					

(4) そ の 他

該当なしに付き省略

6. 湛 水 検 討

該当なしに付き省略

第 5 節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第 1 2 表－1)

項 目 路 線 名	幅 (有効) × 延 長 (m) (km)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支線道路	5.0 (4.0) × 25.042	砂 利 道	－	
耕作道路	4.0 (3.0) × 3.259	砂 利 道	－	
計	28.301			

(2) 索 道

該当なしに付き省略

(第 1 2 表－2)

項 目 路 線 名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

該当なしに付き省略

(第 13 表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図

該当なしに付き省略

2. 土 壤 改 良

該当なしに付き省略

(第 13 表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土壌統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100ml)	ha 当 たり 所 要 量			備 考
			H2O	K C L			石 灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有 機 質 資材(t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なしに付き省略

2. 計画洪水量及び調節量

該当なしに付き省略

(第 14 表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪 水 到達時間 (hr)	計 画 洪 水 量 (m ³ /S)	安 全 洪 水 量 (m ³ /S)	必 要 調 節 量 (m ³ /S)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /S)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /S)	調 節 後 最大流量 (m ³ /S)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /S)	最大調節量 (m ³ /S)

3. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第 14 表-2)

項 目 貯 水 池 名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /S)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節 流 量 (m ³ /S)	可能調節流量 (m ³ /S)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なしに付き省略

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なしに付き省略

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なしに付き省略

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なしに付き省略

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なしに付き省略

(3) 洪水調節要領

該当なしに付き省略

第 8 節 干 拓 計 画

該当なしに付き省略

(第 15 表)

名 称	項 目	延 長 (m)	計画高潮 (水) 位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
170.75×75.0	1.0ha以上	208.9 208.9	78.7 78.8	0.00~0.47	
85.38×75.0	0.5~1.0ha未満	48.2 48.2	18.1 18.2	〃	
不 整 形	0.3~0.5ha未満	6.5 5.9	2.4 2.2	〃	
端 田	0.3未満	2.0 2.0	0.8 0.8	〃	
	小 計	265.6 265.0	100.0 100.0		
普通畑		-	-	-	
計		265.6 265.0	100.0 100.0		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表 土 扱 い 要 否 の 理 由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m³)	備 考
179.8	作土深確保	20	359,600	

(3) 末端道水路配置図

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区 分		面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 分	基 準 雨 量 (mm/ 日)	単 位 排 水 量 (m³/S/ha)	計 画 後 の 位 地 下 水 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
		事 業 名							
		区画整理事業	計						
本暗渠		265. 6 265. 0	265. 6 265. 0	A2, A3, C20, C21, C22 D30, E40, E43, F50 G60, G62	30	0. 00347	0. 6	小排水路へ 自然排水	地表残留水 30mm/日
計		265. 6 265. 0	265. 6 265. 0						

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第16表-3-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 分	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名				
		計			
計					

3. 客 土

該当なしに付き省略

(第16表-4)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土 壤 統 (区) 名	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客 土 量 (m³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名			現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採土地(客土材料) (%)	
		計									
計											

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なしに付き省略

(第16表-5-1)

項 目 区 分	最 大 風 速 (m/S)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

該当なしに付き省略

(第16表-5-2)

項 目 名 称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /S/ha)	全排水量 (m ³ /S)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

該当なしに付き省略

(第16表-5-3)

項 目 施 設 名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考
計				

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なしに付き省略

(2) 計画洪水量

該当なしに付き省略

2. 堤体補強計画

該当なしに付き省略

3. 取水施設改修計画

該当なしに付き省略

第 5 章 主 要 工 事 計 画

第 1 節 用 水 施 設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第 17 表－1)

名 称	流域面積 (Km ²)		位 置	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎基盤地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
堤 体	型 式	直 接	間 接	(m)	(千m ³)		総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /S)		取水施設	取 水 量 (m ³ /S)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m ³ /S)	

2. 頭 首 工

該当なしに付き省略

(第 17 表－2)

名 称				位 置				備 考
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/S)	付 帯 施 設	
		固 定 部	可 動 部	計				

3. 揚 水 機

(第 17 表－3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /S)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (Kw)	台 数 (台)	
物見沢揚水機場	石巻市広渕	0.068	7.6	13.00	水中ポンプ	150	2	モーター	11.0	2	
統合揚水機場(川南)	東松島市赤井	0.149	7.9	17.00	水中ポンプ	200	2	モーター	22.0	2	
統合揚水機場(舟入)	東松島市赤井	0.157	7.8	17.00	水中ポンプ	200	2	モーター	30.0	2	
統合揚水機場(中道)	東松島市赤井	0.126	7.9	17.00	水中ポンプ	200	2	モーター	22.0	2	
上区第一揚水機場	東松島市赤井	0.169	6.7	14.00	水中ポンプ	250	2	モーター	22.0	2	
上区第二揚水機場	東松島市赤井	0.074	6.4	14.00	水中ポンプ	150	2	モーター	11.0	2	
青木川下流揚水機場	石巻市北村	0.035	-	-	水中ポンプ	150	2	-	-	-	既設利用
計	-	0.778	-	-	-	-	-	-	-	-	

4. 用 水 路

(第17表-4)

（第17表）

項 目 水 路 名	かんがい面積 (ha)		通 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業	計								
パイプライン	265.6 265.0	265.6 265.0	0.157	-	34.607	34.607	塩ビ管, FRPM管	-	-	加圧パイプライン
計	265.6 265.0	265.6 265.0	-	-	34.607	34.607	-	-	-	

5. その他かんがい施設

該当なしに付き省略

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なしに付き省略

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m³/S)	備 考

2. 排 水 機

該当なしに付き省略

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m³/S)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水 路 名	受 益 面 積 (ha)		排 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業	計								
排水路	300.5 299.4	300.5 299.4	0.753 ~9.469	23.208	-	23.208	排水フリーム	1/300 ~1/4,000	-	
計	300.5 299.4	300.5 299.4	-	23.208	-	23.208	-	-	-	

4. その他排水施設

該当なしに付き省略

第 3 節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅 (有効) × 延 長		構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
		(m)	(km)		名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線道路	51路線	5.0 (4.0) ×	25.042	砂 利	-	-	-	-	-	-	
耕作道路	17路線	4.0 (3.0) ×	3.259	砂 利	-	-	-	-	-	-	
計	68路線	-	28.301	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 道路主要構造物

該当なしに付き省略

(第19表-2)

項 目 路 線 名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索道

該当なしに付き省略

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

該当なしに付き省略

(第20表-1)

区 分	項 目	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫

該当なしに付き省略

(第20表-2)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業

該当なしに付き省略

(第20表-3)

区 分		項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
	地目	造成工法			

(4) 地目変換

該当なしに付き省略

(第20表-4)

区 分	項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考

(5) 末端用水路等
該当なしに付き省略

(第20表-5)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(6) 末端排水路等
該当なしに付き省略

(第20表-6)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 土壌改良

該当なしに付き省略

(第20表-7)

区 分	項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭 首 工
該当なしに付き省略

(第21表-2)

名 称			位 置					備 考
型 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設備	
			固定部	可動部	計			

(2) 導水施設
該当なしに付き省略

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防
該当なしに付き省略

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め
該当なしに付き省略

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 附属施設

該当なしに付き省略

4. 埋立
該当なしに付き省略

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第 2 3 表 - 1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	
深谷西	265.6 265.0	170.75 × 75.0	-	179.8	359,600	

(2) 末端用水路等

該当なしに付き省略

(第 2 3 表 - 2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

該当なしに付き省略

(第 2 3 表 - 3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第 2 3 表 - 4 - 1)

区 分	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備 考
	事 業 名		勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量 (m/ha)	
	区画整理事業	計														
本 暗 渠	265.6 265.0	265.6 265.0	1/1,000	ポリ管	φ125	51	1/2,000	ポリ管	φ50 ~100	0.65	10	1,031	小排水路	排水 フルード	-	
計	265.6 265.0	265.6 265.0														

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略					(第23表-4-2)	
区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

3. 客 土

該当なしに付き省略				(第 2 3 表－ 5)			
項 目 区 分	面 積 (ha)		客入土量 (m³)	土取場土量 (m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事 業 名						
		計					
計							

4. 除 礫

該当なしに付き省略					(第23表-6)	
区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

5. 農地保全

(1) 防 風 林

該当なしに付き省略						(第 2 3 表－ 7)	
区 分	項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考

(2) 排 水 路

該当なしに付き省略		(第23表-8)			
区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /S)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工

該当なしに付き省略

(第23表-9)

区分	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なしに付き省略

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (Km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³ /S)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /S)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /S)	備考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なしに付き省略

(2) 漏水防止工

該当なしに付き省略

4. 用 水 路

(第17表-4)

項 目 水 路 名	かんがい面積 (ha)		通 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業	計								
パイプライン	265.6 265.0	265.6 265.0	0.157	-	34.607	34.607	塩ビ管, FRPM管	-	-	加圧パイプライン
計	265.6 265.0	265.6 265.0	-	-	34.607	34.607	-	-	-	

5. その他かんがい施設

該当なしに付き省略

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なしに付き省略

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m³/S)	備 考

2. 排 水 機

該当なしに付き省略

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m³/S)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水 路 名	受 益 面 積(ha)		排 水 量 (m³/S)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	区画整理事業	計								
幹線排水路	(267.3)	(267.3)	0.264 ～2.571	2.978	－	2.978	排水フリーム	1/1500 ～1/3000	－	
支線排水路	300.5 299.4	300.5 299.4	0.007 ～0.941	5.654	－	5.654	排水フリーム	1/1000 ～1/4000	－	
小排水路	(300.5) (299.4)	(300.5) (299.4)	0.004 ～0.453	12.771	－	12.771	排水フリーム	1/300 ～1/4000	－	
承水路	(300.5) (299.4)	(300.5) (299.4)	0.003 ～0.110	1.805	－	1.805	排水フリーム	1/300 ～1/4000	－	
計	300.5 299.4	300.5 299.4	－	23.208	－	23.208	－	－	－	

4. その他排水施設

該当なしに付き省略

第 3 節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅 (有効) × 延 長		構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
		(m)	(km)		名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線道路	51路線	5.0(4.0) ×	25.042	砂 利	-	-	-	-	-	-	
耕作道路	17路線	4.0(3.0) ×	3.259	砂 利	-	-	-	-	-	-	
計	68路線	-	28.301	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 道路主要構造物

該当なしに付き省略

(第19表-2)

項 目 路 線 名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索道

該当なしに付き省略

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

該当なしに付き省略

(第20表-1)

区 分	項 目	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除 礫

該当なしに付き省略

(第20表-2)

区 分	項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業

該当なしに付き省略

(第20表-3)

区 分		項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
	地目	造成工法			

(4) 地目変換

該当なしに付き省略

(第20表-4)

区 分	項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考

(5) 末端用水路等
該当なしに付き省略

(第20表-5)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(6) 末端排水路等
該当なしに付き省略

(第20表-6)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 土壌改良

該当なしに付き省略

(第20表-7)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭 首 工
該当なしに付き省略

(第21表-2)

名 称			位 置					備 考
				(m)			計画洪水位 (m)	
	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長	固定部	可動部	計		
型 式								

(2) 導水施設
該当なしに付き省略

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防
該当なしに付き省略

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め
該当なしに付き省略

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 附属施設

該当なしに付き省略

4. 埋立
該当なしに付き省略

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	
深谷西	265.6 265.0	170.75 × 75.0	-	179.8	359,600	

(2) 末端用水路等

該当なしに付き省略

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

該当なしに付き省略

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区 分	面 積 (ha)		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備 考
	事 業 名		勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量 (m/ha)	
	区画整理事業	計														
本 暗 渠	265.6 265.0	265.6 265.0	1/1,000	ポリ管	φ125	51	1/2,000	ポリ管	φ50 ~100	0.65	10	1,031	小排水路	排水 フルード	-	
計	265.6 265.0	265.6 265.0														

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

3. 客 土

該当なしに付き省略

(第23表-5)

項 目 区 分	面 積(ha)		客入土量 (m³)	土取場土量 (m³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事 業 名						
		計					
計							

4. 除 礫

該当なしに付き省略

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

5. 農地保全

(1) 防 風 林

該当なしに付き省略

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考

(2) 排 水 路

該当なしに付き省略

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /S)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工

該当なしに付き省略

(第23表-9)

区分	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なしに付き省略

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (Km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³ /S)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /S)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /S)	備考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なしに付き省略

(2) 漏水防止工

該当なしに付き省略

第 6 章 附 帯 工 事 計 画

該当なしに付き省略

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 工 : 令和 4 年度

完 了 : 令和 12 年度

第 8 章 環 境 と 調 和 へ の 配 慮

本地区は、事業実施に際しては、両生類の移動経路・連続性確保（お助け工、ワンド工）の整備等を行い、環境との調和に配慮する。さらに、施工中の建設機械は低排出型・低騒音型を使用し環境への影響を最小限にとどめる。

第 9 章 換 地 計 画 の 概 要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の換地計画は、工事によって土地の区画が変更されることに伴い、土地所有権及びその他の権利確定と、農用地の集団化その他、農業経営の合理化を達成するため樹立するものである。

このため、換地計画に当たっては従前の土地を基準とし、権利の明確化を図り集落単位の集団化と更に個人別集団化を図ることとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第 25 表 - 1)

換地区名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
深谷西	石巻市広瀬・北村 東松島市赤井・大塩	300.5 299.4

2. 換地区を設定する理由

該当なしに付き省略

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
深谷西	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合は、その申し出があった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位: ha)

(第25表-3)

用途 (取得予定者)	換地区名	非農用地 区域外に換地する土地											非農用地 区域に換地する土地										機能交換に係る土地					一般国公有地	総 合 計			
		田	畑	山林・ 原野	そ の 他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合 計	国	県	市町村 他			合 計		
						土地 改良	施設 その他	小計		改良 区	その他	計		宅 地	そ の 他	計		農業 経営 合理化	施設 用地	生活上・ 経営上	必要 な施設 用地	公用・ 公共用	施設 用地								宅 地 等	計
前	後	273.5 272.5	0.5 0.5	- -	- -	0.0 0.0	- -	0.0 0.0	274.0 273.0	- -	- -	- -	274.0 273.0	- -	0.3 0.3	0.3 0.3	- -	- -	- -	- -	- -	0.3 0.3	0.1 0.1	- -	26.1 26.0	26.2 26.1	- -	300.5 299.4				
深谷西	従前の土地	273.5 272.5	0.5 0.5	- -	- -	0.0 0.0	- -	0.0 0.0	274.0 273.0	- -	- -	- -	274.0 273.0	- -	0.3 0.3	0.3 0.3	- -	- -	- -	- -	- -	0.3 0.3	0.1 0.1	- -	26.1 26.0	26.2 26.1	- -	300.5 299.4				
	換地	265.6 265.0	- -	- -	- -	0.0 0.0	- -	0.0 0.0	265.6 265.0	1.4 1.0	- -	1.4 1.0	267.0 266.0	- -	0.3 0.3	0.3 0.3	- -	- -	- -	1.8 1.8	- -	1.8 1.8	2.1 2.1	0.1 0.1	- -	31.3 31.2	31.4 31.3	- -	300.5 299.4			
合計	従前の土地	273.5 272.5	0.5 0.5	- -	- -	0.0 0.0	- -	0.0 0.0	274.0 273.0	- -	- -	- -	274.0 273.0	- -	0.3 0.3	0.3 0.3	- -	- -	- -	- -	- -	0.3 0.3	0.1 0.1	- -	26.1 26.0	26.2 26.1	- -	300.5 299.4				
	換地	265.6 265.0	- -	- -	- -	0.0 0.0	- -	0.0 0.0	265.6 265.0	1.4 1.0	- -	1.4 1.0	267.0 266.0	- -	0.3 0.3	0.3 0.3	- -	- -	- -	1.8 1.8	- -	1.8 1.8	2.1 2.1	0.1 0.1	- -	31.3 31.2	31.4 31.3	- -	300.5 299.4			

3. 農地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
深谷西	集落別の集団化とともに担い手農家の所有農地が面的集積の核となるように集団化を図り、大区画の効用を十分に発揮できるように配慮する。	個人別の位置については、各人の従前の土地の利用等を考慮して集団化を図るが、担い手農家による生産集積が行われ易いように集団化を図り、大区画の効用を十分に発揮できるよう配慮するものとする。	1. 3 団地	区画畦畔の取り扱いについては、大区画の機能を損なわないよう固定畦畔とし、分割する場合には畦畔を築立せず杭による分割表示を基本とする。

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
深谷西	鉄塔敷	石巻市広瀬	3,242.08	特定用途用地	東北電力ネットワーク(株)	
	市道	東松島市赤井	18,560.80	特別減歩見合いによる創設換地	東松島市	
	計		21,802.88			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

土地の評価は、それぞれの土地の自然条件及び利用条件について点数により評価し、その点数ごとの評価額を定めて、従前の土地と換地の土地条件が見合っているか判断する。従前の土地の中から農業条件がそろった最もよい土地を標準地として選定し、その標準地との比較は、土地の自然条件及び利用条件の評価項目を定め、その条件差を考慮して増減点評価する標準地比準方式により評価する。

2. 清算の方法

清算は、従前の土地の評価総額と換地の評価総額との差額（増価額）を地積に比例して、各従前の土地に按分し、この配分額とその従前の土地の価額とを合計して換地交付基準額を定め、これと換地額の価額との差を徴収、交付する比例地積清算方式によって行う。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第 2 5 表－ 6)

区 分 換 地 区 名	一 時 利 用 地 定 指 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
深谷西	令和 4 年度 から 令和 10 年度 まで	令和 11 年度	令和 12 年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

地区全体の区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第 8 9 条の 2 第 1 0 項において準用する同法第 5 4 条第 2 項本文の規定ただし書きに基づき換地処分を行うことができる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

区 分	種 目	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
	区画整理工	A= 265.6 ha 265.0 ha	4,879,000 4,879,000	R3年度単価
	暗渠排水工	A= 265.6 ha 265.0 ha	659,000 659,000	
	客土工	- -	- -	
	測 量 試 験 費	1 式 1 式	847,000 847,000	
	用地買収補償費	1 式 1 式	60,000 60,000	
	換 地 費	1 式 1 式	255,000 255,000	
	小 計		6,700,000 6,700,000	
	事 務 的 経 費	1 式 1 式	335,000 335,000	
	計		7,035,000 7,035,000	
関連事業 (参考)				
	計			

第 11 章 効 用

(第 27 表)

事業名	項 目	年総効果（便益）額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
	区 別			
区画整理事業	作物生産効果	121,090	△4,680	R3年度単価
	営農経費節減効果	367,581	378,494	
	維持管理費節減効果	△24,137	△1,917	
	耕作放棄防止効果	0	-	
	非農用地等創設効果	173	-	
	国産農産物安定供給効果	12,055	-	
	計	476,762	371,897	

総費用額	7,229	百万円
(参考) 総便益額	8,355	百万円

第 12 章 関 連 す る 事 業

(第 28 表)

区 分	事 業 名	事業主体	受益面積 (ha)	備 考
異種	国営かんがい排水事業 河南地区	国	5,395.1 (252.5)	揚水機場, 幹線用水路, 水管理施設 (S45～S56)
異種	国営かんがい排水事業 河南二期地区	国	4,679.0 (252.5)	揚排水機場, 幹線用排水路, 水管理施設 (H28～R8)
異種	国附県営かんがい排水事業 河南地区	宮城県	144.8 (144.8)	幹線用水路 (S48～S58)
異種	県営排水対策特別事業 中区第一地区	宮城県	174.2 (28.8)	幹線排水路 (S63～H6)
異種	団体営かんがい排水事業: 上区地区	河南矢本土地改良区	575.0 (267.3)	排水機場 (S32～S34)

() 地区内受益及び流域

第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 計画一般図
2. 計画平面図
3. 土地利用計画図

県 営 深 谷 西 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 深 谷 西 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 深 谷 西 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 深 谷 西 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 深 谷 西 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3

県 営 深 谷 西 地 区 区 画 整 理 事 業 計 画 書 添 付 図 面		
番 号	図 面 の 名 称	枚 数
1	計 画 一 般 図	1
2	計 画 平 面 図	1
3	土 地 利 用 計 画 図	1
計		3